

2-14	少人数でも盛り上がるゲーム集会（自分の思いや考えを表現しよう）
------	---------------------------------

1 はじめに

少人数の学校では、全体的に児童がおとなしく、自分の感情をあまり表に出さない。他校の児童と触れ合う場面においても、自分から積極的に関わることができにくい。そこで、簡単なゲームや言葉遊びを取り入れることによって、語彙力や人間関係力を高めることができる集会活動を試みた。

2 実践例

ゲーム名	内 容
じゃんけんゲーム	貨物列車、進化じゃんけん、ぎょうざじゃんけんなど（集会の時間の始めに簡単にできる。）
質問じゃんけん	2人組でじゃんけんをする。勝った人は、負けた人に質問をする。負けた人は答えるが、答えたくないとき、分からないときはその旨を言って答えない。
整列ゲーム	身長順、あいうえお順、誕生順など一列にあるいは円になって並ぶ。言葉を使わずに整列することもできる。
同じ仲間集まれ	好きな季節、血液型、好きな勉強、好きなスポーツなど共通点のある仲間が集まる。言葉を使わないで集まることもできる。
ゲーム	木とリス、もうじゅうがりゲーム、フルーツバスケットなどルールが簡単で手軽にできるゲームをする。
4つのコーナー	部屋を4つに仕切り、それぞれ「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「思わない」のカードを置く。教師の質問に対して、自分の気持ちに合う所へ行く。たとえば、「勉強は大切ですか？」など。なぜそこに行ったのか理由を発表させる。
言葉遊び	しりとり遊び、「○のつく言葉集め」（例えば、あのつく言葉を集める。）伝言ゲーム、ことばつなぎ（さよなら三角、またきて四角、四角はとうふ、とうふは白いと言言葉をつなげる）などリズムよく言葉遊びをする。
ぼかぼか言葉 ちくちく言葉	言われてうれしかった言葉（ぼかぼか言葉）といやだった言葉（ちくちく言葉）をグループでできるだけたくさん集める。言ったり、言われたりしたときの気持ちを話し合う。
ほめほめ言葉	円を作って座る。一人ずつ立つ。 立った人のよいところを具体的にほめる。例（〇〇さんはやさしいです。昨日の休み時間に私が一人でいたら、「いっしょに遊ぼう。」と声をかけてくれたからです。）

※ これらのゲームを組み合わせて活動する。

3 おわりに

人と人との関わりが減り、人間関係が希薄になってきている中、ゲームを通して互いに触れ合うことは、へき地小規模校に限らず重要である。簡単なゲームを短時間でより多く取り入れることにより、心と体が触れ合い、温かい気持ちになり、より豊かな人間関係が作れると考える。